



保健安全部



－ 年間活動目標 －

児童生徒や教職員が健康や危機管理に対する理解を深め、正しい知識を身に付けるとともに、関係機関や他の分掌部と連携し、安全・安心な学校生活を送るための校内体制及び教育環境の整備を図る。

主な各係の具体的な取組



保健衛生係



- ・ 児童生徒の健康教育に関する授業実践の充実
(健康づくり, 足育指導)
- ・ 職員の危機管理意識を高める研修・訓練の充実



食育推進係



- ・ 望ましい食習慣の育成と摂食機能の向上のための指導力の向上
- ・ 家庭・学校・病院が連携した食物アレルギーの対応



防災安全係



- ・ 児童生徒の防災教育に関する授業実践の充実
(防災ブックの活用)
- ・ 家庭や地域と連携した訓練と研修の実施



教育環境整備係



- ・ 安全点検, 愛校作業の計画と実施
- ・ PTAや地域, 各部, 他の分掌部と連携し, 清掃やクリーンウォークを実施

3ヶ年計画 (2019~2021)

徹底した安全確保と安全管理の中で「心身共に健康な子どもを育成する学校」を目指します。
～病気や災害等に対する未然防止・迅速な緊急時の対応・再発防止の取組～

安心・安全な教育環境づくり

- ・ 快適で機能的な教育環境の設定
- ・ 危機管理意識向上のための教職員研修の充実
- ・ 緊急時における教職員の対応能力の向上
- ・ 専門家や関係機関との連携(相談・助言)案

教育活動の理解・啓発

- ・ 健康教育の活動に関する本校の取組についての情報発信(学校公開・HP等)

教育活動全体を通して行う健康教育

- ・ 発達段階に応じた基礎的知識の習得のための学習内容の精選
- ・ 心身の健康の保持増進に関する教育活動の充実
- ・ 食育を通じた自己管理能力の育成
- ・ 危険を察知し、自ら安全に行動できる力の育成(授業実践)

信頼関係を築く取組と緊密な連携

- ・ 地域の資源を活用した危機管理体制の確立(消防署等の連携)
- ・ 地域との信頼関係の構築(防災, 学校保健, 食育推進委員会等組織の活用)

グラウンドデザインの4つの柱

- 安心
- 安全
- 確かな学力
- 地域支援
- 地域連携

【各年の主なねらい】

1年目(R1)

- ＜児童生徒が健康に生活できる教育実践＞
 - ・ 足育, ウォーキング, 食育教育, 防災教育, 愛校作業, フォーティフォー, 思いっぴ活動などの活動
 - ・ 専門家への相談と協力の確保
- ＜危機管理を高める訓練・研修＞
 - ・ 緊急時シミュレーション(年2回)と引き渡し訓練(1回)
 - ・ 7月1日の暑熱対策
- ＜安全・安心に生活できる教育環境の整備＞
 - ・ 緊急時や災害時の対応
 - ・ 安全点検(月1回)
 - ・ 関係機関との相談

2年目(R2)

- ＜健康教育の授業実践＞
 - ・ 健康教育に関連する各教科・領域, 道徳, 特別活動等での授業実践の充実
 - ・ 専門家の指導・協定を主とした授業実践の充実
- ＜危機管理意識を高める研修・訓練の在り方の検討＞
 - ・ 研修内容の精選と, 効果的な研修や回数確保
 - ・ 研修(知識習得)→計画(役割分担)→実践(目標)→振り返り(課題の把握)→改善・修正(実施方法の改善, 研修内容のサイクルで行う)の取組
- ＜地域や家庭, 関係機関との信頼関係の構築＞
 - ・ 家庭や地域の関係機関との情報交換や協議の上での計画作成と実践
 - ・ 学校, 家庭, 地域の関係機関の役割の明確化
 - ・ 学校や児童生徒, 地域の特性や状況の把握

3年目(R3)

- ＜健康教育における指導内容の系統性の整理＞
 - ・ 指導内容や教育, 施設等に於ける教職員の位置づけと学習内容の精選
 - ・ 生活年齢や発達段階に応じた授業実践の分類と整理
- ＜危機管理意識を高める研修・訓練の在り方の構築＞
 - ・ 研修計画に基づいた研修の実践と効果検証
 - ・ 地域や家庭, 関係機関と連携した校内体制の確立
 - ・ 保護者と関係機関等と協同で行う危機管理マニュアルの作成
- ＜次年度に向けて＞
 - ・ 過去3年間の振り返りと課題の整理
 - ・ 次年度以降の3年間の活動計画の検討